令和５年度 公共事業 事後評価

平成29年度完了

道路改築事業

一般国道142号
佐久南拡幅

佐久市

長野県　建設部

佐久市街地を望む（平成29年度完成）

事業の概要

事業計画時の課題・背景及び事業経緯

◆一般国道142号は、佐久地域と松本・諏訪地域を結ぶ幹線道路であり、三次医療機関である佐久総合病院へのアクセスを担う。

◆中部横断自動車道佐久南IC 供用に伴う交通量増加への対応として交通容量の確保が必要となった。

◆佐久南拡幅により幹線道路としての機能を発揮させるため、平成8年11月に都市計画決定し、平成11年度に事業着手した。

【事業実施前の状況】

①渋滞発生状況
下平入口～岸野小学校入口交差点

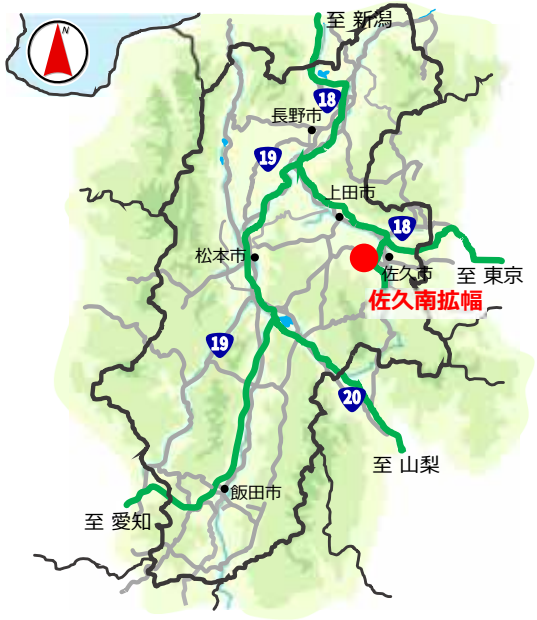
②三塚・泉野入口交差点付近

事業目的

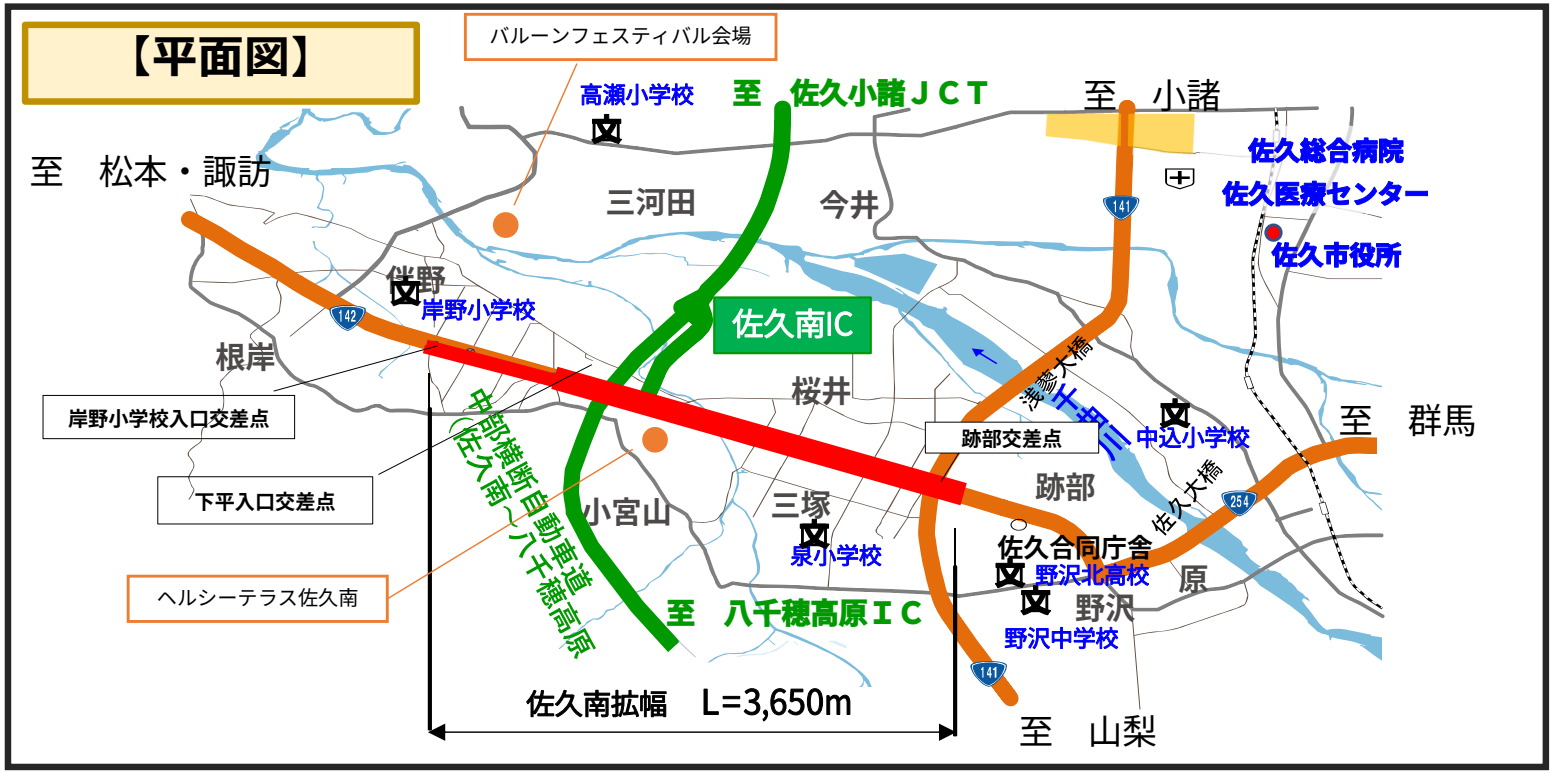
中部横断自動車道佐久南IC以南開通に伴う交通量増加に対応するため、一般国道142号の４車線化により、安全で円滑な交通を確保することを目的とした事業である。

事業の概要

【位置図】



【平面図】



【全体計画】

延長　　：　3,650m

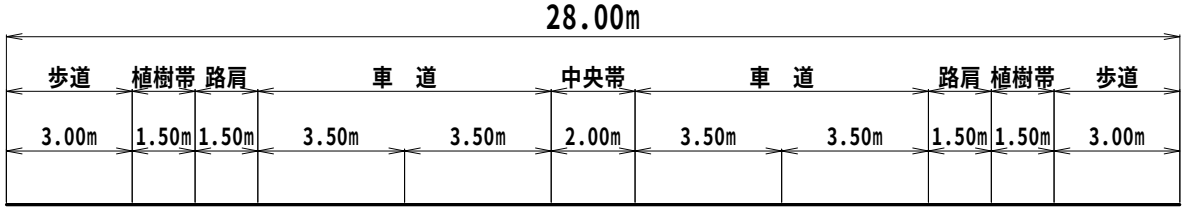
幅員　　：　（全幅）28.00m

　　（車道）14.00m

事業期間　：　平成11年度～平成29年度

全体事業費：　61億5,095万円

【標準横断図】



事業概要の変更経緯

事業概要の変更経緯

	当初計画		最終実績 （H29完了時）
事　業　期　間	H11～H24年度		H11～H29年度
総　事　業　費	51億円		61億5,095万円
費 用 対 効 果	B/C = 4.5		B/C = 2.4
事　業　概　要	道路築造工 延長　3,650m 幅員　(全幅) 28.0m (車道) 14.0m		道路築造工 延長　3,650m 幅員　(全幅) 28.0m (車道) 14.0m

変更理由（総事業費の増）

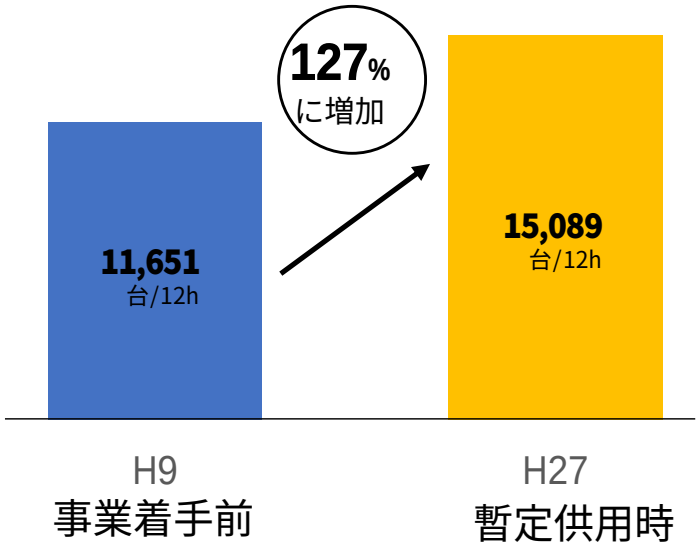
- ◆ 事業期間中に児童の交通事故が発生したことから、泉小学校PTAから横断歩道橋の設置に関して強い要望があり、新たに歩道橋を設置したため増額となった。
- ◆ 片貝橋について、当初は既設橋梁の拡幅を想定していたが、既設と拡幅部分とのたわみ量の違いや既設橋梁の損傷などを勘案し架替に変更したため増額となった。
- ◆ 拡幅部が軟弱軟弱地盤であり、地耐力がなく、地下水位も高いことが判明したため、地盤改良による置換工を実施し増額となった。

①－１　事業効果の発現状況（直接的効果）

交通の利便性向上

- ４車線化により交通容量が向上し、中部横断自動車道へのアクセス性が向上

【国道142号の交通量】



安全性向上

- 対面通行区間を４車線化したことにより交通渋滞が解消され、走行が円滑化なった。
- 歩道橋の設置により、児童の横断時の安全が確保された。
- H15～H28までの10年間で交通死亡事故が6件起きているが、H29年度以降はゼロ。

拡幅前の混雑状況

設置された歩道橋

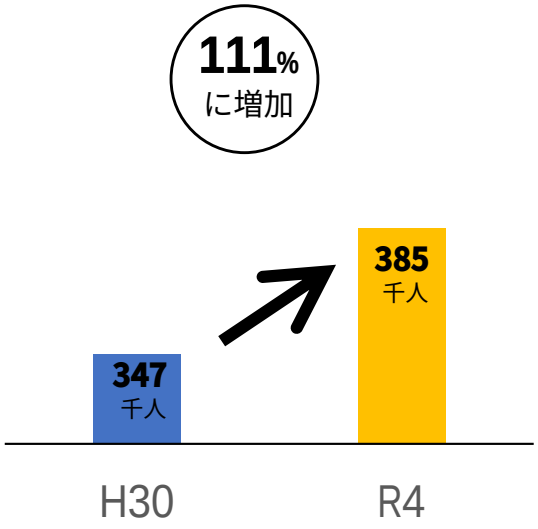
①－２　事業効果の発現状況（間接的効果）

地域間の交流、商業圏域拡大による経済効果

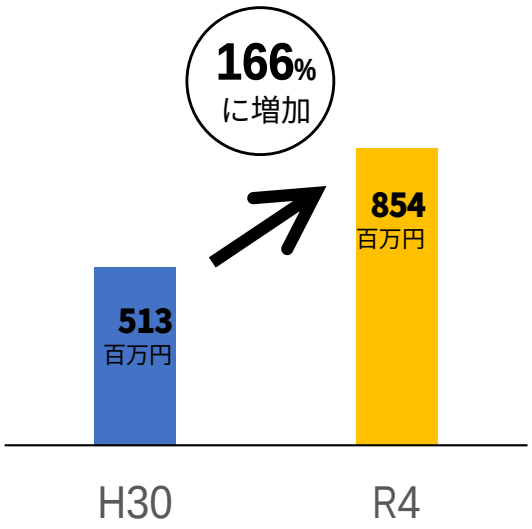
- 佐久市において整備された道の駅では、４車線化により利用者が増え、近隣で生産がされる農産物の直売取引が活性化するなど地域の経済効果に寄与

- 中部横断自動車道へのアクセスが向上したことにより、佐久平を中心とする工業団地への企業の誘致に寄与（佐久市内にH23年度以降8社進出）

【道の駅（佐久南ヘルシーテラス）】



【利用客推移】



【売上推移】

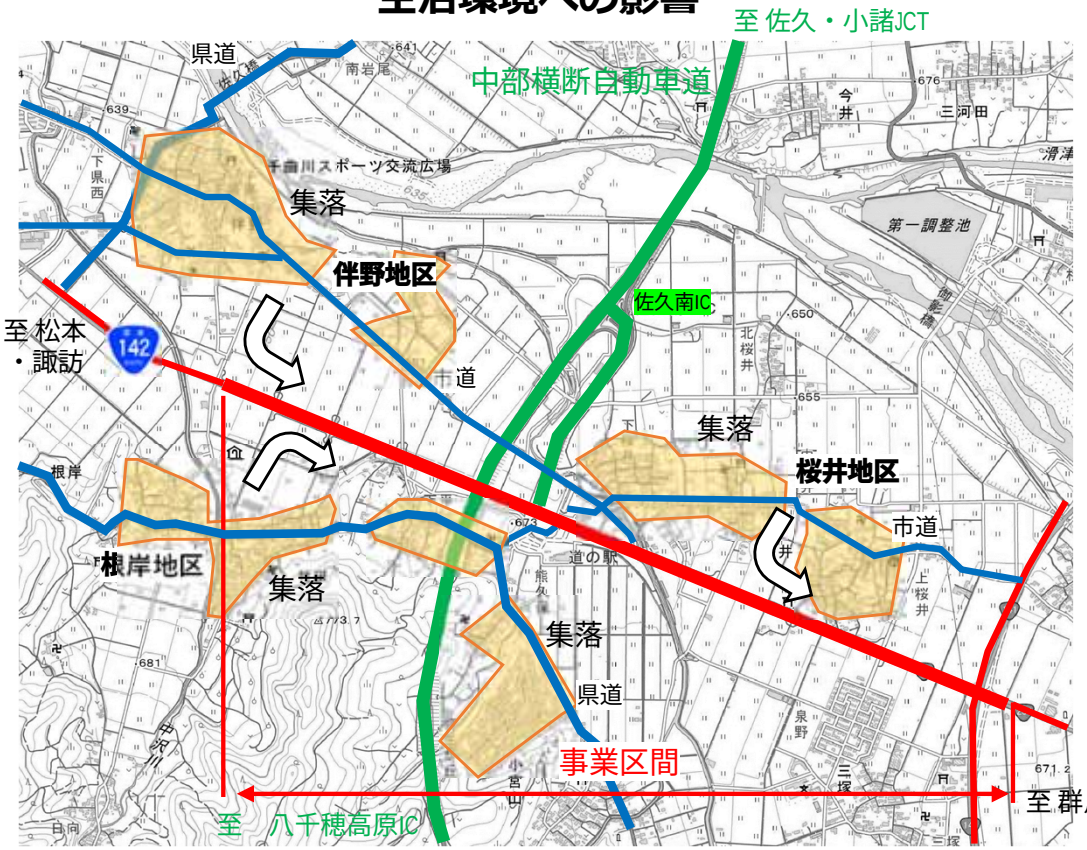
ヘルシーテラス佐久南（佐久市HPより）

②　事業実施に伴う自然環境・生活環境等への影響

- 擁壁工の見直しにより農地の買収面積を極力減らし、沿線上の農地を健全に保っている。
- 道路拡幅により幹線道路としての機能が向上し渋滞が解消されたことにより、伴野地区や桜井地区の生活道路から本線へ交通転換され、地元地区の安全性の向上、騒音の減少に繋がっている。

自然環境・農地保全

生活環境への影響



生活道路からの交通転換

③　施設の維持管理状況

- 年１回、アダプト団体等が主体となり、地域の児童等による沿道美化活動が行われている。
- 道路パトロールを毎週１回行っており、良好な状態の確保に努めている。

岸野小学校児童による美化活動
（岸野小学校HPより）

道路パトロール

④　地域住民等の評価

- ◆ 朝夕の交通の流れがスムーズになり佐久市内への通勤時間が短くなった。（望月区住民、上田地域住民）
- ◆ 車線が増え、また右折、左折レーンが整備されたため、農耕車と安全にすれ違いができる。また、農耕車が原因となる渋滞はなくなった。（望月区住民）
- ◆ 歩道と歩道橋が整備されたので、通学路が安全になった。（岸野区住民（岸野小学校保護者））
- ◆ 道の駅（ヘルシーテラス佐久南、ほっとパーク浅科）利用者及び売り上げが増加し、地域の活性化につながっている。（桜井区住民）
- ◆ 佐久バルーンフェスティバル時の混雑が減った。（岸野区住民）

バルーンフェスティバル（佐久市観光協会HPから）

ヘルシーテラス佐久南　農産物フェス
（長野県公式観光サイトHPから）

事後評価結果

総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	A	70点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成　　【55点】 C：目的を概ね達成　【40点】
② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	A	10点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし　【5点】 C：影響が大きい　　【0点】
③ 施設の維持管理状況	A	10点	A：地域の人たちも参加し適切に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】　D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】　B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
総合評価	**A**	**100点**	**A：75点以上　　B：74点～50点 C：49点以下**

改善措置の必要性

特になし

今後の取組及び同種事業への活用と課題

- 本事業の目的は交通容量の確保であったが、間接的な効果として交通転換による地元区の生活道路の環境改善にも繋がったことから、同種の事業を実施する際には地元説明などで生かしていきたい。

事後評価結果

【建設部公共事業評価委員会の意見】

道路整備により、混雑の解消や地域経済の活性化など一定の効果があり、中部横断自動車道とのアクセス道路としての機能を十分に発揮していることから、事業の目的を達成しており、地元住民からの評価も高いことから総合評価Aが妥当と判断する。

【長野県公共事業評価委員会の意見】

建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案	A	**評価監視委員会意見**	妥当	**評価の決定**	A